

基本方針を具体化する活動

国際連携教育部門

1. 高知大学からの留学生派遣を増やす

- (1) アジアの協定校からの留学生受入数に対し派遣数が少ないことから、アジアの英語共通語圏（フィリピン、マレーシアなど）の協定校への留学生派遣を増やす。また中国語圏の協定校への派遣を増やす。
- (2) 協定校への留学生派遣を増やすため、協定校情報の整理とパンフレット、インターネットでの発信を強化、また学生向けセミナーを多重的に開催するなど、学生の関心を高める。
- (3) 留学希望者の英語力アップのため、学部等と共同でTOEFL等対策講座の開発や支援を行うとともに、派遣数増加のために有効活用する。
- (4) 中国語センターを活用して、中国留学への学生や保護者の関心を高め、学生の中国語力をアップさせる。

2. 日本人学生等と留学生が共に集い、共に学ぶキャンパスを創造する

- (1) 留学生向け行事は、日本人学生も参加可能とし、学生たち自身の企画を取り入れる。（例：日本語スピーチコンテスト、留学生による協定校紹介セミナー、学外への合同研修旅行など）
- (2) 高知大学ポータルサイトの国際関連部分は英語対応とし、学内のサインや看板も日・英2か国語併記とし、留学生に優しいキャンパスを実現する。
- (3) 日本人学生等と留学生が、常時集い情報交換できる交流スペースを確保する。交流スペースには、コンピューターや外国語雑誌、留学情報などがいつでも見られるよう整備し、留学生向けビジョンボックスを置く。

3. 留学生獲得から受入れまで、ワンストップサービスを強化する

- (1) 留学生の獲得に当たっては、協定校からの短期留学のみならず、質の確保を前提にJICA留学生（修士）や私費留学生、国費留学生など長期留学生を積極的に獲得する。そのために国際連携推進センターは、留学生向けの広報ツール（外国語によるウェブサイト、パンフレット、DVDなど）を開発し、国内のみならず海外での留学フェアに参加し海外大学での説明会などを開催する。また、学術交流等で海外の大学等へ出張する際にも、留学生勧奨のための活動を行うことを促進する。（例：国際化戦略経費の申請項目にも留学生獲得努力を追加するなど）
- (2) 教員の留学生受入/派遣の事務的負担を減らし、留学生の利便性向上を図るため、留学生受入/派遣事務は、国際連携推進センターがワンストップサービスとしての役割を担う。また、教員向け及び留学生向けの受入手続マニュアル、留学希望者

向けの留学マニュアル、留学生受入/派遣危機管理マニュアル等を整備しイントラネット、インターネットで公開する。

- (3) 留学生の危機予防のため、ブリーフィング、コンサルテーションを強化する。
- (4) 留学生向け宿舎確保は、混住型学生寮の整備を推進するが、当面は宿舎の借上げや宿舎提供サービスの外部委託などを検討する。